



片貝中学校同窓会会報

第14号 2014年1月

片貝中学校 ☎ 0258 (84) 2030

0258 (84) 3880

<http://www.city.ojiya.niigata.jp/katachu/>

(中学校HP)

E-mail katachu@city.ojiya.niigata.jp



片貝町の良きについて

同窓会会長

安部 恒

新年、明けましておめでとう
ございます。

昨年八月に同窓会会長に就任
いたしました。よろしくお願
いいたします。

私は高校を卒業後、十五年程
片貝を離れ、主に新潟市で暮ら
しております。そして平成五
年春に郷里片貝に戻りました。
暮らした時に感じた片貝町
の良さは今も鮮明に思い出され
ます。

二つのことを感じました。ま
ず一つは自然の中に町があるこ
とのすばらしさです。

家のすぐ近くでウグイスが鳴
き、夏は蝉、秋は虫の声、そし
て冬は静寂。縄文の昔からこの
地の人々は自然に癒されながら
暮らしてきたのではないでしょ
うか。

そしてもう一つは守られてい
る感じがしたことです。家族や
家庭のもうひとつ外側に片貝町
という大きな家族の様なものが
さらに自分たちを守ってくれて
いるように感じました。言葉を
換えて言えば、町に暮らす人た
ちの様々な絆に守られていると

感じたのだと思います。同級会
や同窓会もその大切な絆の一つ
だと思います。同窓会の活動の中
には駅伝大会の共催、同窓祭講
演会などこの町に暮らす方々に
開かれた行事もあります。また
東京片貝会による子供たちへの
教育講演会や図書購入費の寄付
など絆は遠くまで広がっていま
す。とてもすばらしいことです。
同窓会の役員は、同窓生やそ
の他多くの方々のお力を借りな
がら、この良き伝統を守ってい
こうと思えます。どうかよろし
くお願いいたします。



同窓会という文化

片貝中学校長

清水 千治

片貝町における同窓会は、た
くさんの人たちの努力で築かれ
受け継がれてきた一つの文化だ
と感じています。私が勤務した
学校で、同窓会が地域や学校と
このように固く結び付いている
ことはありませんでした。

一般に同窓会と学校の関係は
というと、生徒たちの卒業の時
に同窓会入会式をしてもらった
り、周年行事の時に協力いただ
いたりすることが主ではないか
と思えます。同級会という横の

つながりはあっても、同窓会と
しての縦のつながりは弱くなる
のが自然です。その結果、同窓
会組織を存続させること自体が
難しい学校も出てくるのです。

片貝町では同窓会の存在が地
域や学校生活の中にあります。
片貝まつりや同窓会球技大会な
どの地域行事、東京片貝会教育
講演会や同窓会入会式などの学
校での行事などで、生徒たちは
たくさん先輩たちとかわわり
様々なことを学んでいます。

生徒たちは、自分自身が同窓
会の将来の担い手でもあるとい
うことを実感しているように思
います。私は、「自らが文化の担
い手である」という意識と誇り
を、生徒たちが自然にもてるこ
とを素晴らしいと感じ、校長と
して大変感謝をしています。



先輩が語ってくれる

新入会員

ゆいこうかい
結虹会

第六十六回卒

阿部 航大

私達の同級会名は「結虹会」

です。レインボー学年は団結
力が強く仲が良い学年です。

また、思いやりが強く困って
いる人がいるとすぐに手を差
しのべてくれる仲間たちです。

「結虹会」という会名は、
「いつまでも仲間とつながり
ていたい」という思いとレイ
ンボー学年の「虹」からこの
名前に決められました。全員で

悩んだ末に決めたこの会名を
歳がいくつになっても大切に
していきます。

片貝町の皆様から受けた、
ご恩を「倍返し」できる成人
になれるようにがんばります。

まだまだご迷惑をおかけする
かと思いますが、ご指導をよ
ろしくお願い致します。





私は片貝町を愛しています
第二十三回同窓会実行委員長
友心会 高橋 昭雄

新年明けましておめでとうございませう。

平成二十五年十月二十六日に行われました第二十三回同窓会ですが、第三十五回卒業生の友心会と第四十七回卒業生の愛郷会の強力タッグで開催させていただきました。

準備期間としては一年間あった訳ですが、最初のうちは方針が決まらず無為な時間が過ぎてしまいました。しかし、同窓会役員の方々や友心会と愛郷会が一丸となって計画し、同窓会を開催出来た事は非常に嬉しい事です。

講演は片貝町在住でしん設備



の代表取締役の黒崎哲郎様による、「片貝の歴史について」という演題でお話を頂きました。黒崎様は片貝郷土史研究会で片貝町の歴史などについて研究されており、この分野に非常に詳しく知識の広さは驚きに値します。そして、片貝町の名字の統計や変遷のお話は非常に興味深い内容でした。この小さい町の名字の分布を一覧表で示していただき、なるほどと感じさせられました。さらに、片貝総領守の浅原神社のお話では、彫り物の干支にちなんだお話で少し謎めいた感じで、ダビンチコードを読んでいるような気にさせられました。



写させていただきました。様々な情報がそこには封じ込めてあり、あたかもタイムスリップした気分になりました。

今回一番心に残った事は、人と人との繋がりが歴史を通じた時間軸と現在の人々の広がりとして感じる事が出来た事です。何度とない打ち合わせを行って、普段はなかなか交流出来ない人達との楽しい思い出と経験が宝物の様に思えます。

今回の同窓会を無事に終えた事は、我々だけの力では無く、片貝町の全ての人達に支えられているのだと強く実感する所です。



晴笑会 佐藤 瑞穂
この度は同窓会の先輩方をはじめ多くの町民の皆様のお助けを頂戴し、無事一年間にわたる成人行事を終えることができました。成人玉送りは大きく転換しましたが屋台を引くその道中に強く感じたのは、この町がホムタウンなのだという新鮮な喜びでした。皆様への感謝を忘れず、また頑張ってくださいませ。新年、おめでとうございませう。

三十三歳厄払行事を終えて

唯聖会

黒崎 美江子

私達唯聖会は、昨年の浅原神社秋季大祭において、三十三歳厄払い奉納煙火を無事に終わらせて頂きました。これも皆様の御指導、御鞭撻の賜物と感謝申し上げます。今後共、片貝中学校卒業生である事を誇りに思い、同級生の絆をより一層深めて行きたいと思っております。

敬頌新禧

鳳凰会

大矢 弘光

我々鳳凰会会員にとって、本厄払いの年であった旧年は感動の連続の一年となりました。

ひとえに同窓会会員の皆様、片貝町民の皆様のご指導ご支援の賜物と感謝致しております。皆様にとりまして平成二十六年がますますのご発展の年となりますよう、鳳凰会会員一同、心よりお祈り申し上げます。

五十歳記念行事を終えて

緑翼会

安達 武夫

新年、明けましておめでとうございませう。昨年六月に事務所開きを行いみんなで助け合い協力し笑顔で迎えた片貝祭り。当日は天気にも恵まれ素晴らしい一日となりました。温かく出迎えてくれた町民の皆様へ感謝すると共に、本年も幸多い年になりますよう会員一同お祈り申し上げます。

感動と感激の還暦行事

にし会

小宮 和弥

謹んで新春のお慶びを申し上げます。昨年の還暦行事は、町民の皆様、関係者の皆様のお陰で無事終える事ができました。当日はお天気にも恵まれ、大輪の花火が夜空を覆った感動は今思い出しても胸が熱くなります。また、伝統ある片貝祭りを継承する事の大切さを改めて感じました。

わが同級会 紹介



成人を迎えるにあたって
輝虹会会長
横山 亮太

新年、明けましておめでとうございませう。私達「輝虹会」は片貝中学校第六十二回卒業生です。昨年の成人の方と同様、会員の人数が四十人と少数です。準備を進めるにも人数が少なく、活動していく上で厳しいですが、ここ一番にやってくれる頼もしい仲間です。今は期待と不安でいっぱいですが、私達らしい祭りが送れたらいいと思います。

九月十日には浅原の夜空に輝く虹色の花火を輝虹会の仲間と笑顔で喜びたいです。今年一年、地域の方々や先輩方、保護者の皆様にはご迷惑をおかけするかと思いますが、ご指導をよろしくお願い致します。



厄年記念行事成功へ向けて
五十一回会長
佐藤 江里子

新年、あけましておめでとうございませう。私達「五十一会」は、片貝中学校第五十一回卒業生です。会の名前は、卒業回数から名付けました。シンプルですが覚えてもらいやすく、とても気に入っています。

小学校時代の学年名は「にじ学年」でした。個性豊かな会員が多く、普段は別々の場で活躍していますが、一つの行事に対して皆で意見を出し合い、「にじ」の様に団結し取り組んでいく学年です。

また、私達の学年は女性会員が多く、とても賑やかであり、会員一人一人が明るい雰囲気大切にしています。今回の記念行事にあたり、準備等で会員と多くの時間を共有できる事が楽しみであり、素晴らしい秋季大祭にしたいと思っております。

町民の皆様のご支援・ご声援、そしてご指導を宜しくお願い致します。今年一年、町民の皆様にとつて素晴らしい年になりますよう、お祈り申し上げます。



四十二歳厄年を迎えるにあたって
輝友会会長
吉井 雅人

謹んで新春のお慶びを申し上げます。私達「輝友会」は、この度四十二歳厄年を迎えることとなりました。これもひとえに皆様のおかげと感謝申し上げます。

本年はいよいよ記念行事を執り行う年となりました。年齢的にも、地域、家庭、職場などにおいても、いろいろな経験を積み重ねてまいりました。この経験を生かしながら、知恵を出し合い、精一杯努力して「輝友会」の色を出していきたいと思っております。

諸先輩の方から受け継がれたした記念行事を成功させ、同級生の絆をより一層深めて、心に残る思い出深い行事にしていきたいと思っております。今後とも温かいご声援を宜しくお願いいたします。

最後になりますが、片貝町民の皆様にとつて本年が幸多き一年となりますよう、輝友会一同心よりお祈り申し上げます。



五十歳を迎えるにあたって
ささなみ会会長
大矢 政之

新年、明けましておめでとうございませう。私達「ささなみ会」も今年は五十歳を迎えます。日ごろから町民の皆様より温かいご声援をいただき有難う御座います。

今年の秋季大祭に五十歳の記念行事として参加させて頂きました。各地で頑張っている仲間や恩師との再会を楽しみに、準備を進めてまいります。私達会員はとも仲の良い会です。天気の仕事では皆様に心配をかけておりますが、伝統ある片貝祭りを盛り上げるよう、会員一同力を合わせて頑張らせてまいります。

町民の皆様への感謝を込めて花火を奉納させて頂きます。準備も含め会員みんなが良い思い出を作れるよう楽しみながら進めていきたいと思っております。

本年も、皆様より変わらぬご支援、ご指導宜しくお願い申し上げます。最後になりますが、町民の皆様にとつて、幸多き年になりますよう、ささなみ会一同、心よりお祈り申し上げます。



還暦を迎えるにあたって
つぐみ会会長
吉井 進

私たち「つぐみ会」は、昭和二十九年の午年・三十年の未年生まれの総勢九十名の仲間たちです。片貝中学校二十三回の卒業に因んで二十三「つぐみ」鳥の名前」と名付けました。

中学生の頃は、かわいらしかった私たちも、今年いよいよ還暦を迎え、頭の上や肌のつやがすでに高齢者のように見える人もおります。しかし、気持ちはずんずんとしていて輝いています。

還暦を祝う祭りの成功に向け、一昨年より組織固めを行い、現在、酒を酌み交わし、楽しみながら着々と準備を進めております。今まで、先輩の同窓会の方々を始め、各町内の皆様からご配慮をいただいておりますことをこの紙面を通じて感謝申し上げます。

今年の九月九日は、物故同級生の追善供養と会員の健康祈願並びに片貝町の発展、そして、つぐみ会還暦の心意気を大輪の花火に込め、片貝の夜空につぐみ会の美しい花を咲かせます。よろしくお祈り申し上げます。

東京片貝会



東京片貝会教育講演会を振り返って
緑翼会会長
安達 武夫

第三十一回東京片貝会教育講演会が昨年十月二十八日に開催され、講師として緑翼会の小川千春さんから「職場における私の仕事」片貝の裏山は世界に通ずる「天然ガス」と題して講演していただきました。

私達も小学生の頃に、遠足で行ったことのある石油資源開発から産出される天然ガスが日本各地に送られている話など大変興味深い内容でした。代表の生徒、児童より感想を聞いて、とても有意義な講演会だったと感じられました。

最後に大役である講師を引き受けてくれた小川千春さん並びに東京片貝会の皆様に感謝し、御礼申し上げます。



同窓会行事報告

平成25年

1月10日 同窓会会報「窓友」第13号発行

2月6日 同窓祭当番幹事引継ぎ会

3月6日 第66回卒業生（結虹会）同窓会入会式

3月8日 片貝中学校卒業式

4月5日 片貝中学校入学式

4月26日 片貝中学校教職員歓送迎会

6月8日 同窓会三役会議

6月30日 東京片貝会総会 出席

7月3日 同窓会役員会議

7月30日 同窓会役員会

8月5日 同窓会総務委員会

8月31日 片貝まつり 各厄年、記念行事、事務所挨拶

10月12日 東京片貝会教育講演会

11月9、10日 中学校近県バレーボール大会

11月10日 町民駅伝大会

11月26日 同窓会会報「窓友」編集会議

12月15日 中越親善バスケットボール大会 協賛

明及び承認

役員改選

安達隆会長退任、新会長に副会長安部恒が新任

新副会長に吉原裕二、久賀透副会長は引き続き信任

8月11日 片貝まつり玉送り行事今後の取組みについて

8月16日 第56回同窓会球技大会

バスケットボールの部優勝…

バレーボールの部優勝…華成会

8月30、31日 片貝まつり 各厄年、記念行事、事務所挨拶

10月12日 東京片貝会教育講演会

会

講師…小川 千春（緑翼会）

演題…「片貝の裏山は世界に通ずる」

反省会

10月20日 町民運動会

10月23日 新会長就任に伴う歴代同窓会長、副会長との会合

10月26日 同窓会総会、第23回同窓祭

11月9、10日 中学校近県バレーボール大会

11月10日 町民駅伝大会

11月26日 同窓会会報「窓友」編集会議

12月15日 中越親善バスケットボール大会 協賛



同窓会球技大会



総務委員会



片貝町民駅伝

同窓会役員名簿

名譽会長	清水 千治	中学校校長
会長	安部 恒	双葉会
副会長	吉原 裕二	みつわ会
副会長	久賀 透	ささなみ会
副会長	岩崎 真	中学校教頭
副会長	小野 塚一	翼進会
副会長	本田 和憲	鳳凰会
副会長	堀沢 直樹	飛翔会
副会長	石上 勉	西成会
副会長	佐藤 正敏	双葉会
副会長	吉原 孝	緑翼会
副会長	浅田 浩幸	実生会
副会長	吉井 正人	友心会
副会長	五十嵐 秋男	成友会
副会長	鈴木 俊之	一心会
副会長	相崎 秀人	鳳凰会
副会長	吉原 正明	鳳凰会
副会長	芝原 雪絵	飛翔会
副会長	山口 拓朗	翼翔会
副会長	安達 淳	恒暉会
副会長	友田 貴子	平成会
副会長	安達 勇二	愛星会
副会長	安達 文隆	みつわ会
副会長	小宮 文男	恒友会
副会長	浅田 博光	一心会
副会長	内山 小百合	翔心会
副会長	高野 卓美	翠心会
副会長	芝野 久典	恒暉会
副会長	安達 直人	実生会
副会長	佐藤 一成	輝龍会
副会長	佐藤 一成	輝龍会

平成24年度活動報告

平成24年度会計報告、会計監査

第22回同窓祭行事、決算報告

第23回同窓祭行事計画の説